

vol. **9**
2011.10.1

北里大学北里研究所メディカルセンター病院

広報誌

百合樹

ゆりのき

Kitasato University Kitasato Institute Medical Center Hospital



消化器内科の現状

北里大学北里研究所メディカルセンター病院(KMC病院)の消化器内科は、部長の横森弘昭をはじめ以下、田原久美子・竹内 一・大塚俊和・金子亨の5人体制で診療に従事しています。一般消化器内科として肝臓、上下部消化管、膵胆道系疾患と多岐にわたる疾患に関して、日々診療に従事しております。地域の中核病院としての役割を果たすべく、緊急治療にもできる限り対応していますが、人員不足もあり思うように対応できていないのが現状です。

特に今回は内視鏡検査、および治療について現状の話をしようと思います。近年、上部下部消化管のスクリーニング検査として内視鏡検査のニーズは増えています。当院も平成20年12月に日本消化器内視鏡学会指導施設に認定を受け、22年4月には内視鏡画像保存システムを導入し、検査の効率化を図っております。平成22年度の内視鏡検査件数は上部内視鏡

3506件、下部内視鏡 1257件、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP) 105件を行いました。また、早期胃癌や胃ポリープの内視鏡治療、大腸ポリープの内視鏡治療も行っています。早期胃癌治療としては2004年から内視鏡的粘膜下層剥離術を導入しており昨年度は21病変に対して治療を行いました。ERCPにおいても総胆管結石の治療、胆管閉塞に対してのド

レナーゼ術と、検査だけにとどまらず治療内視鏡として行うことも多い状況です。そのような現状で、治療内視鏡に関しては治療の曜日を固定するほどの人員はおらず通常の検査内視鏡件数を制限して治療に当てたり、ERCPに関しては時間外に行うことが多く、看護師や検査技師の方々にも協力してもらい実施しています。最近では新たな検査として、小腸内視鏡やカプセル内視鏡も話題になってきており、当院では導入していないため今後はそのような検査にも対応できるようにしていく必要性もあると考えています。

消化器内科として、これからも微力ながら地域医療に貢献できればと思っております。

竹内 一 (消化器内科)



ときだちの 幹



名前 … 久嶋 則行

職場 … 産婦人科

自己PR … 生命の誕生から終末期医療まで女性の一生を診る医療を微力ながらがんばっています。

趣味 … 数年前から雨以外は自転車で通勤しました。まさにエコ。

特技 … ないですねえ… 不器用なんで。

好きな食べ物 … うなぎ… かな、まあ、豆ご飯以外ならなんでも。

次の紹介者 … いつも緊急手術でお世話になっている大澤 了さん(麻酔科医師)。

放射線検査を受けられる皆様へ

連日ニュースや新聞などで放射線という言葉を見聞きするようになり、その影響について不安に感じている方も多いと思います。今回は放射線検査について、少しお話ししたいと思います。

放射線には物質を通り抜ける性質があります。この性質を利用してX線（レントゲン）写真、X線透視、CT、RI（核医学検査）などの画像を作ります。放射線を利用して画像を作ることで、実際に身体を切り開くことなく内部の様子を調べることができます。

一方、放射線には人体の細胞を壊したり傷つけたりする性質もあります。身体に備わっている修復能力・再生能力によって多くの場合はもと通りになります。大量の放射線を受けると修復・再生が追いつかなくなり、組織や臓器の障害となって現れるようになります。

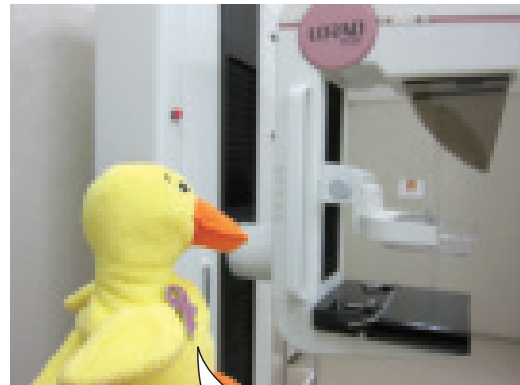
何かをすることによって悪影響が起こるかもしれない可能性（確率）のことを「リスク」といいます。私たちの日常生活には常にリスクがつきまっています。喫煙やその煙、大気中の汚染物質や不規則な生活習慣など、数えればきりがありません。私たちが便利に使っている自動車や飛行機にも事故のリスクはありますし、東京～ニューヨーク間を飛行機で往復すると宇宙線による被ばくは約0.2mSvになると言われています。全ての医療行為、医薬品にもリスクはあり、放射線も数あるリスクのうちのひとつと言えます。

放射線にリスクがあるのに放射線検査を行うのは、リスクに比べて利益のほうがはるか大きいからです。検査によって病気を見つけたり、どんな病気を調べたり、治療方針を決めたりすることが有用なのは、疑いようのないことです。

医師が患者さまに検査が必要だと判断すると、私たち放射線技師はそのオーダーを受け検査を行います。検査目的や体格の違いに応じて、必要最小限の放射線

量となるよう調整しながら撮影しています。また、機器がいつでも正常に動作し十分な性能を発揮できるように日常点検や管理を行っていますので、皆様には安心して検査を受けて頂きたいと思います。

最後に放射線部の機器の一部を紹介します。



マンモグラフィー専用装置です

64列マルチスライスCTです
心臓血管の検査もできます



田島 敬子（放射線部 診療放射線技師）

ときだちの輪



名前 … 牧野 武志

職場 … 内科、腎センター（腎臓内科）

自己PR … 恥ずかしがり屋なので、皆さんから声をかけていただくと嬉しいんですが、ドキドキしてしまいます。

趣味 … ゴルフ（かなりオタク）

好きな食べ物 … あべにゅ〜のポークカレー（まさに神!!!）

次の紹介者 … 吉田秀さん（内科、健康管理センター医師）僕と同期で〜す。

ー理学療法士って何？ー

こんにちは。理学療法士の大沢です。

『理学療法士』ご存知でしょうか？「知ってるよ」といった声も少し聞こえてきた今日この頃ですが、『リハビリテーション（リハビリ）』の一部を担う専門職です。当院のリハビリセンターには作業療法士、言語聴覚士といった仲間達も一緒に働いています。今回はそんな理学療法（士）について紹介したいと思います。

★対象は？

主に運動機能が低下してしまった方々が対象となります。原疾患は中枢神経疾患、整形外科疾患、心肺疾患、小児疾患、術後や高齢に伴い体力が低下してしまった方、その他にも様々な疾患を持った方々が対象となります。また、よくなる疾患だけでなく、進行疾患をもった方も対象となります。他にもスポーツ分野、介護予防分野、企業、行政などに携わっている理学療法士もいます。

★何をやるの？

主には低下してしまった運動機能や動作能力の回復を助けます。単に筋力増強や動作練習をするだけでなく、苦痛なく、かつ効率よく機能が改善するように工夫しながら、その人に合った方法で運動

など行います。また、リハビリを行うことになった直接的な疾患だけでなく、他に合併症を持っている方も多くいますので、全身の機能を総合的にみていきます。そして生活へとつなげていきます。

どうでしょうか、こんなことをしています。動かないところを動かしたり、体力が落ちている中で運動するわけですから、どうしても「痛い」「辛い」と思うこともあると思います。ですが、リハビリが苦しい思い出だけで終わらないように、治療の中で痛みや苦痛をできるだけ感じないで改善が得られるよう常に心がけています。また、生活に必要な動きは人によって違いますし、価値観や目標、やりたいことも人それぞれです。それを達成するため、もしくはそれに近づけるようにひとりひとりと精一杯向き合い、最善の結果が得られるように知識や技術も高めていきたいと思えます。そして生き生きと暮らせ「リハビリ行くのが楽しみだな」「あの時がんばってよかったな」と少しでも明るい思いが増やせたらうれしいです。

大変な中でも希望の花が心に咲くような理学療法ができたなら、そう思って日々すごしています。

大沢 涼子（理学療法士）



ときだすの 輪



名前 … 鰐淵 康一郎

職場 … 検査部

自己PR … 今年度より細菌検査室から生理機能検査室に異動になりました。入所して10年になりますが、新人のつもりで頑張っています。

趣味 … 登山、スキューバダイビング

特技 … バドミントン（素人比較）

好きな食べ物 … 生モノ

次の紹介者 … 大野朋子さん（治験管理センター）

「経口補水液 (ORS)」を知っていますか？

今年の夏は暑かったですね！過度の節電のために熱中症で脱水になられた、という方はいらっしゃいませんか？

今回は、脱水状態改善のための「経口補水液」についてのお話です。

夏の時期の激しい発汗だけでなく、例えばこれからの時期は「ノロウイルス」や「ロタウイルス」などのウイルス性腸炎による下痢や嘔吐でも、体は脱水になります。小さいお子さんは特に心配ですね。

脱水とは、体の水分とともに電解質が失われた状態です。この時の水分補給には水やお茶・ジュースより、適切な濃度のナトリウム（塩分）と、ナトリウムの吸収を促進する適度なブドウ糖を含む「経口補水液 (ORS)」の摂取が効果的です。もちろん、重度の脱水には病院などでの点滴（輸液）が必要です。軽度の脱水状態の時、例えばトイレの回数が減って尿の色が濃くなった、また嘔吐や下痢が始まってすぐ、などのタイミングにORSを飲むことで水分補給になり、脱水

の改善につながる可能性があります。このORSは、最近ではドラッグストアなどでも入手可能です。

【OS-1（大塚製薬工場）・アクアライトORS（和光堂）など】

さて、一般のスポーツドリンクはORSになるでしょうか？スポーツドリンクは電解質濃度が低く、そのわりに糖分が多くなっていて健康な状態での水分補給には効果的でも、脱水状態の改善には適しません。

しかし、ORSは自宅で作ることができます（下記参照）。少し「しょっぱい」味で、正直あまりおいしくはありません。ただ脱水の時には、この位の塩分が必要なのだということがよくわかると思います。小さいお子さんがいる家庭では、1度作ってお風呂上りに飲ませてみるのもいいかもしれません。

ORSの作り方

- 水 1 リットル
- さとう 40 グラム（大さじ 4 と 1/2）
- 塩 3 グラム（小さじ 1/2）
- グレープフルーツやレモンの果汁など
お好みの果汁を少量



ORSの飲み方（1日分）

乳児 体重 1kg 当たり 30 ~ 50ml

幼児 300 ~ 600ml

学童～成人（高齢者を含む）

500 ~ 1000ml

- * 乳幼児はスプーンなどで少量から、
大人も少量ずつ、頻回に飲みましょう。
たくさん飲めばいいわけではありません。



最近、医療の現場でも患者様に負担のない方法として、手術前にORSを飲んで点滴をしないうという方法が導入されつつあります。 畑 五月（管理栄養士）

編集後記

日本列島に大きな被害をもたらした台風が過ぎ去り、急に涼しくなり出しました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、手洗い、うがい等、基本的な体調管理をしっかり行っていただきたいと思います。また、これから、インフルエンザ流行

のシーズンを迎えますので、ワクチンの接種を行っておく事も大切です。個々の公衆衛生に関する意識の高まりが、感染症予防には有効ですので、是非行動を起こしてみてください。（柴）

百合樹 [ゆりのき] 第 9 号

発行日：平成23年10月1日
発行責任者：笹岡 大史
発行者：北里大学北里研究所
メディカルセンター病院
広報委員会
埼玉県北本市荒井 6-100
(048) 593-1212 (代)
印刷：関東図書株式会社